

2022 年度知財部会発表（概要）

デジタル時代コンテンツの権利帰属に関する一考察

ーコンテンツ・エコシステムの全貌を捉える

神山智美（富山大学）

デジタル化の進展は著しく、我々に新たな喫緊の課題を突き付けていることを認識させる。さらに、この問題は、世代間の発想やイメージが大きく異なることから、現役の勤労世代（有権者層）がどこまで仕組み構築すべきかまたはできるかということにも疑問をいただいている。こうしたところ、令和5年度には著作権法改正（厳格化含む）も見込まれており、議論すべき点のみならず、速やかに決定して運用段階に移行すべき事項が少なくない。

そこで本報告では、既存の著作権を有する著作物、権利者不明著作物およびUGC（User Generated Content）について、それらが「エコシステム」と表現されるようなシステムの中で適切に「物質代謝」しながら社会の活力となることができるような素地を提供できるような仕組みを検討すること試みる。具体的には、①知財エコシステム全体像への考察、②各知財コンテンツにおける考察、③エコシステムとして機能するか？であり、本報告ではテーマ①から③についての検討を踏まえ、報告者なりの思料を展開する所存である。